

科目ナンバリング		U-LAS04 20016 LJ46							
授業科目名 <英訳>		精神分析Ⅰ Psychoanalysis I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 松本 卓也 非常勤講師 藤井 あゆみ		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金3		配当学年	全回生	対象学生 全学向	
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
[授業の概要・目的]									
メランコリーの語源を遡れば古代ギリシアの医学に至るが、その長い概念史のなかで一つの転換点になっているのが精神分析の祖ジークムント・フロイトのメランコリー論である。古代から近代までメランコリーは、自然や神による影響のもとに生じる恐ろしい病として捉えられたり、天才の徴と見なされたり、アケーディアやノスタルジーと重ねられたりし、さまざまな意味を付与され、多義的になっていった。そしてその多義性ゆえに、現代医学ではほとんど用いられなくなったのである。メランコリーという語が医学の表舞台から退いていく過渡期に著された論文がフロイトの「喪（悲哀）とメランコリー」（1917[1915]）であり、ここでは、心因性のメランコリー（うつ病ないし双極性障害）が、愛すると同時に憎んでもいる対象をこころの中に取り込み、その内なる対象を責め苛むことによって発生するという斬新な見解が示されている。この論考は、精神分析の理論的側面を支えるメタサイコロジ論（力動論・経済論・局所論）の一角を成すものであり、ナルシシズムやサディズム、同一化といった重要概念を含み、のちの「超自我」概念の成立に深く関わる論考である。講義では、この論考をドイツ語原文で読み進めながら、先にあげた精神分析の重要概念の解説を行い、フロイトのメランコリー論が超自我形成説の核になっていることを明らかにしていく。また、メランコリー論を契機にフロイトの弟子たちが対象関係論を発展させていった流れも追い、精神分析における学派争いの問題点を視野に入れ、批判的に分析理論を見直す。									
[到達目標]									
フロイトのメランコリー論の読解を通じて、精神分析の重要概念を理解する。メランコリー論を契機にした対象関係論への流れと学派間の争いを踏まえたうえで、フロイトの精神分析の原理的な問題点を考察できるようになる。									
[授業計画と内容]									
1. 導入 2. メランコリーの概念史 3. 精神分析の基礎概念の整理 4. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（1） 5. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（2） 6. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（3） 7. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（4） 8. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（5） 9. フロイトの1917年の論考「喪（悲哀）とメランコリー」読解（6） 10. 欲動論から対象関係論への移行（1）アーブラハムのメランコリー論 11. 欲動論から対象関係論への移行（2）ラドーのメランコリー論 12. 欲動論から対象関係論への移行（3）クラインのメランコリー論 13. 精神分析への批判的論考概観 14. 総復習 《期末試験》 15. フィードバック									
----- 精神分析Ⅰ(2)へ続く↓↓↓ -----									

精神分析Ⅰ(2)

【履修要件】

初級ドイツ語文法を終えていることが望ましい。

後期の「精神分析Ⅱ」の継続受講が勧められる。

【成績評価の方法・観点】

翻訳発表（5点×6）、授業内の小レポートないしディスカッションシートの提出（5点×6）、期末試験（40点）

- ・AIを用いた翻訳は認められない

- ・各レポートは課題に応じた到達目標の達成度に即して評価する。

また、独自の工夫が見られるものについては特に評価する。

- ・5回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

予習として、授業中に取り上げるテキストの翻訳、復習として前回箇所の見直しをしておく。

【その他（オフィスアワー等）】

シラバスは目安であり、クラスのレベルを見ながら適宜変更を加えることがあります。また、ディスカッションを多く取り入れるため、その内容によっては進度が遅くなることもあります。連絡等は授業前後に直接取るようにしてください。

【実務経験のある教員による授業】

分類

実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

当該授業科目に関連した実務経験の内容

精神保健福祉士としての様々な領域での実務経験

実務経験を活かした実践的な授業の内容

精神保健福祉士としての様々な領域での研修や実務の経験にもとづき、フロイトの「無意識」に対する理解が現代思想に及ぼした影響について論じる。

【主要授業科目（学部・学科名）】

総合人間学部